



いつも新しい流れがある 市川

令和4年10月3日

報道関係者 各位

市川市教育委員会
学校教育部長 藤井 義康

J Aグループこども月刊誌「ちゃぐりん」の寄付贈呈式

一般社団法人「家の光協会」（J Aグループの出版・文化事業部団体）が発刊しているこども月刊誌「ちゃぐりん」11月号に市川の梨について掲載され、市川市立全小学校に、寄贈していただきました。寄贈は、小学校第5学年の全児童が対象となっており、子どもたちに市川市でも農業が盛んにおこなわれていることなどを伝え、子どもたちの健全な成長に資することを目的としています。

この度、その贈呈式を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 日時
令和4年10月7日（金） 午後14時30分～14時45分
2. 場所
市川市役所 秘書課応接室
3. 内容
J Aグループこども月刊誌「ちゃぐりん」贈呈
4. 出席者
J A関係者（3名）、市長、教育長

以上

（問い合わせ） 市川市教育委員会 保健体育課 関原 TEL 047-383-9342

JAの食農教育雑誌 『ちゃぐりん』のご紹介



JAグループの家の光協会では、1964年に農家の子ども向け月刊誌として『こども家の光』を創刊し、その後『こどもの光』と誌名を変更しました。さらに、創刊30年となる1993年に読者から誌名を募集し、英語のChild(子ども)、Agriculture(農業)、Green(みどり・自然)を合成した現在の誌名『ちゃぐりん』が生まれました。

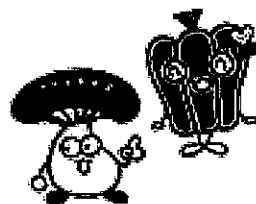
『ちゃぐりん』はこんな本です



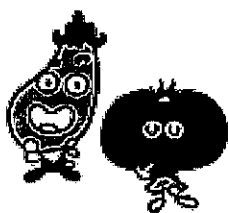
子どものことを真剣に考えて編集しています！ いま、社会的に重要なテーマである「子どもの問題」に真正面から取り組み、「いのち・自然・食べ物・の大切さ」を強く伝えるとともに、地域やJAをはじめ広く「次世代」に貢献する子ども雑誌を『ちゃぐりん』はめざしています。

難しい本なの？

『ちゃぐりん』は学習ばかりの堅い雑誌でも、マンガ中心の娯楽雑誌でもありません。未来を担う小学生を対象に、生きていくことのすばらしさを真剣に伝え、「いのちの大切さ」を強調したわかりやすい誌面づくりをしています。



『ちゃぐりん』はこんな本です



良質な児童文学や児童画、楽しいマンガなどを厳選して掲載していくことにより、読書好きな子を育てます。また、「食と農の学習」に役立つ企画に力を入れています。勉強と遊びの両方をカバーし、たくましくて優しい子、感情豊かな子を育むことをめざしています。

保護者のみなさんがオススメしています。

『ちゃぐりん』は子どもたちに薦める価値のある雑誌として、1994年から(公社)日本PTA全国協議会の推薦を受けています。全国各地の小学校や公民館でも読まれており、『ちゃぐりん』の輪が広がりつつあります。

